

東京都現代美術館

生誕 100 年 特撮美術監督 井上泰幸展

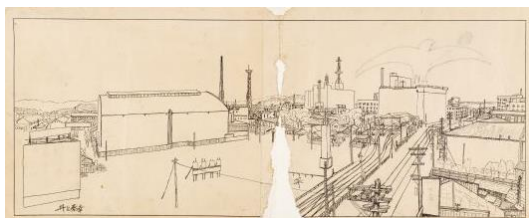
2022 年 3 月 19 日（土）— 6 月 19 日（日）

日本の映像史に重要な位置を占める「特撮（特殊撮影技術の略称）」領域に大きな足跡を遺した特撮美術監督、井上泰幸の個展を開催します。

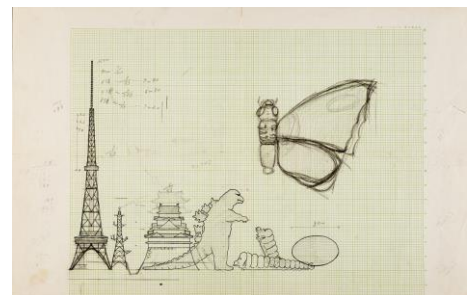
2022年に生誕100年を迎える井上泰幸（1922-2012）は、特撮のパイオニアである円谷英二（1901-1970）のもと、「ゴジラ」（1954）から特撮美術スタッフの一員としてそのキャリアを本格的にスタートしました。以降、デザイナー／特撮美術監督として、特撮映画のみならず日本映画・TV 史において重要な作品を数多く手がけ、映像文化を支えた稀有な作り手です。本展では、井上の遺したスケッチ、デザイン画、絵コンテをはじめ、記録写真や資料、撮影で使用したミニチュアやプロップ、当時を再現したミニチュアセットなどの展示を通して、その功績と日本の特撮映像史を俯瞰し、次世代に向けて創造的なインスピレーションを喚起することを目指します。当館において、特撮領域全般をテーマに開催した「館長 庵野秀明 特撮博物館 ミニチュアで見ると昭和の技」（2012）では、空想的・非日常的光景を作り出す技術であるとともに、デジタル技術が発展した現代における一つの「文化」としての「特撮」が注目を集め、幅広い年齢層にわたる約30万人に来館いただきました。同展でも、会期直前に逝去した井上による貴重なスケッチや図面、セットデザインなどが展示されました。その後、特定非営利活動法人アニメ特撮アーカイブ機構（ATAC、理事長：庵野秀明）が組織され、世界の尊敬を集める「日本のミニチュア特撮」領域の再評価や研究が本格的にスタートしたと言えます。それに続く本展では、ひとりの作家・作り手としての井上とその作品に焦点をあてます。井上は福岡県古賀市に生まれ、第2次世界大戦従軍から負傷して戻り、紆余曲折を経て日本大学芸術学部で籍を置きました。バウハウスに学んだ山脇巖に師事し、東宝で円谷監督のクリエーションを実装するという劇的な人生を送り、東宝では渡辺明に続く二代目の特撮美術監督として、重要な役割を果たしています。また、東宝から独立後にアルファ企画を設立し、国際的にも高く評価された多くの作品群を支えました。本展は、ご遺族をはじめ特撮研究所、アニメ特撮アーカイブ機構の企画協力を得て、井上とゆかりある関連機関と連携し、庵野秀明（「シン・ゴジラ」）や樋口真嗣（「シン・ウルトラマン」）ら、現在最前線で活躍するクリエイターに多大な影響を与えた井上作品の魅力を探ります。



1 福岡・岩田屋周辺ミニチュアセットのメイキング写真、「空の大怪獣ラドン」（1956）より © TOHO CO., LTD.



2 福岡・岩田屋周辺ロケハンスケッチ、「空の大怪獣ラドン」（1956）より © TOHO CO., LTD.



3 怪獣・建造物設定対比図、「モスラ対ゴジラ」（1964）より © TOHO CO., LTD.

お問い合わせ：井上泰幸展広報事務局（共同 PR 内）担当：三井
 TEL: 03-6264-2382 E-MAIL: yasuyuki-inoue-pr@kyodo-pr.co.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

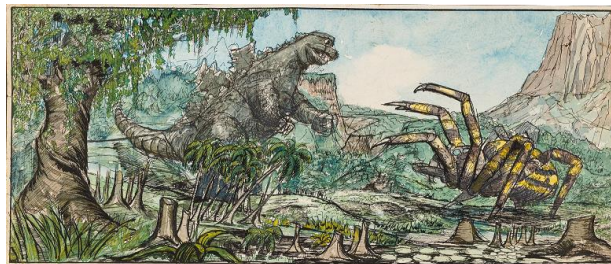
展覧会のみどころ

1 特撮美術監督・井上泰幸の功績を俯瞰する

1953年に新東宝でキャリアをスタートした井上は、その後の東宝時代を通じて円谷英二を支え、アルファ企画設立後も長く特撮美術監督として従事、特撮美術に文化としての大きな発展をもたらしました。井上が遺した多数の資料からアーカイブを作成し、学生時代から晩年まで、同時代の表現者たちとの関係や、その人物像に迫ります。また、未公開資料を含め、かつてない規模で展示を行い、より広く深い調査をもとに作家像を俯瞰します。

2 井上泰幸の美術表現を探る

井上は特撮美術・デザインに加え、怪獣「ヘドラ」のデザインなども幅広く手がけています。井上の仕事に一貫する特徴は、綿密な調査に基づき、空気の層まで取り込むほどの徹底的な再現性です。その手段として、図面や絵コンテを描き、予算計画を俯瞰できるオリジナルの『セット設計』を駆使し、「水落とし装置」や東宝撮影所の大プール設計など、多様な手法を遺しました。本展では、市街地から宇宙まで様々なシーンを現実化し「実装」した井上の仕事を、台本や制作の進行表、現場写真、スケッチや図面、ミニチュア、プロップなど数百点を通して紹介し、その表現の独創性を探ります。



左上4 セット設計(部分)、
「怪獣島の決戦 ゴジラの息子」(1967)より
© TOHO CO., LTD.

右上5 ゴジラ対クモンガ イメージボード、
「怪獣島の決戦 ゴジラの息子」(1967)より
© TOHO CO., LTD.

左下6 海岸のゴジラ イメージボード、
「怪獣島の決戦 ゴジラの息子」(1967)より
© TOHO CO., LTD.

右下10 ヘドラ デザイン画、
「ゴジラ対ヘドラ」(1971)より
© TOHO CO., LTD.

3 特撮文化を継ぐクリエイターが作るメインビジュアルと大型ミニチュアセット

本展は、井上の仕事に大きな影響を受けて特撮文化にかかわるクリエイターたちの協力を得て作られています。特撮研究所、アニメ特撮アーカイブ機構(ATAC、理事長：庵野秀明)の企画協力、樋口真嗣によるメインビジュアル(近日公開)に加え、井上の愛弟子であった特撮研究所の三池敏夫が「空の大怪獣ラドン」(1956)で知られる西鉄福岡駅周辺のミニチュアセットをアトリウム空間に再現します。背景画は島倉二千六、ミニチュア制作は老舗マーブリングファインアーツが担当し、井上の綿密な仕事が令和の技術で蘇ります。特撮映画に参加するような記念撮影を楽しみつつ、当時の特撮現場を体感し、優れた存在感を持つ昭和の「特撮の技」をご覧ください。

出品予定作品・資料

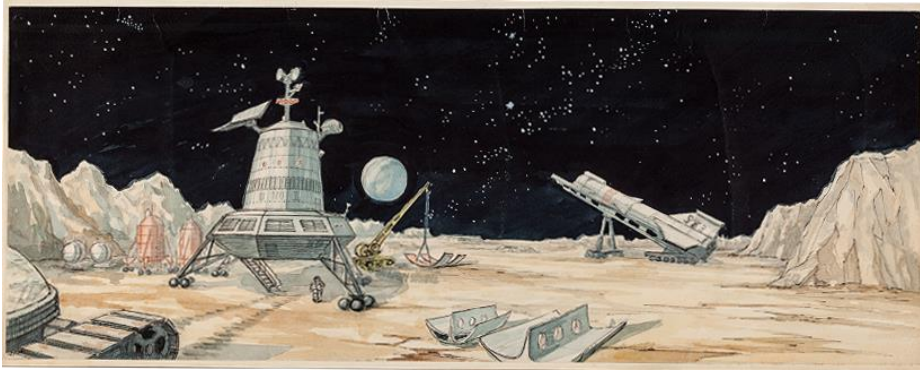
井上のスケッチ、デザイン画、絵コンテ、記録写真や資料、完成映像、撮影で使用したミニチュアやプロップ、「空の大怪獣ラドン」を再現したミニチュアセット(フォトロケーションとしてアトリウムに設置)

「ゴジラ」(1954)、「空の大怪獣ラドン」、「キングコング対ゴジラ」、「海底軍艦」、「ウルトラ Q」、「フランケンシュタインの怪獣 サンダ対ガイラ」、「日本海大海戦」、「ゴジラ対ヘドラ」、「日本沈没」、「惑星大戦争」、「ゴジラ」(1984)、「連合艦隊」、「竹取物語」など。

* 作品点数約 500 点・予定

お問い合わせ：井上泰幸展広報事務局(共同PR内)担当：三井
TEL: 03-6264-2382 E-MAIL: yasuyuki-inoue-pr@kyodo-pr.co.jp

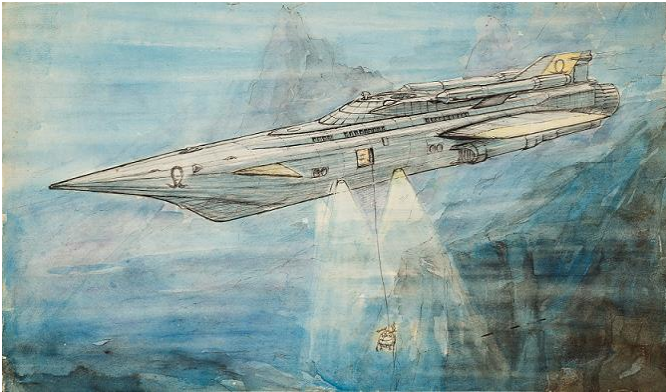
※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。



7 月面基地 イメージボード、「怪獣総進撃」(1968)より
© TOHO CO., LTD.



8 緯度0基地 設定俯瞰図、「緯度0大作戦」
(1969)より © TOHO CO., LTD.



9 万能潜水艦アルファ号 デザイン画、「緯度0大作戦」(1969)より
© TOHO CO., LTD.



11 井上泰幸 アルファ企画にて、1994年 撮影：齋藤純二

関連イベント等

トーク／ギャラリーツアー、体験型ワークショップ等

※上記は事情により内容変更となる場合があります。予めご了承ください。詳細は当館ウェブサイトで順次公開いたします。

展覧会概要

会期 | 2022年3月19日(土) - 6月19日(日)

休館日 | 月曜日(3月21日は開館)、3月22日

開館時間 | 10:00 - 18:00 (展示室入場は閉館の30分前まで)

観覧料 | 一般1,700円 / 大学生・専門学校生・65歳以上1,200円 / 中高生600円 / 小学生以下無料

会場 | 東京都現代美術館 企画展示室 地下2F

主催 | 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館、朝日新聞社

助成 | 令和3年度文化庁文化芸術振興費補助金メディア芸術アーカイブ推進支援事業

企画協力 | 特撮美術監督 井上泰幸 実行委員会、特撮研究所、アニメ特撮アーカイブ機構

協力 | 東宝 ほか

担当学芸員 | 事業企画課 企画係 森山 朋絵



同時開催

「吉阪隆正展 ひげから地球へ、パノラミル」

「MOT コレクション展」

「Tokyo Contemporary Art Award 2020-2022」

お問い合わせ：井上泰幸展広報事務局（共同PR内）担当：三井
TEL: 03-6264-2382 E-MAIL: yasuyuki-inoue-pr@kyodo-pr.co.jp

※開催内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

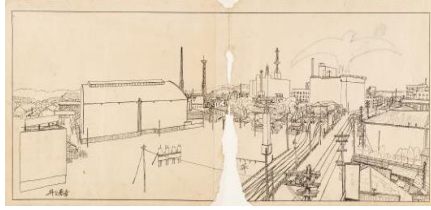
「生誕100年 特撮美術監督 井上泰幸展」【広報作品画像一覧】（2022/1/12版）

1



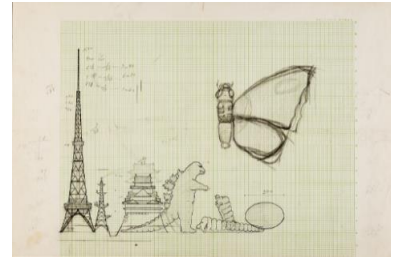
福岡・岩田屋周辺ミニチュアセットのメイキング写真、「空の大怪獣ラドン」(1956)より © TOHO CO., LTD.

2



福岡・岩田屋周辺ロケハンスケッチ、「空の大怪獣ラドン」(1956)より © TOHO CO., LTD.

3



怪獣・建造物設定対比図、「モスラ対ゴジラ」(1964)より © TOHO CO., LTD.

4



セット設計(部分)、「怪獣島の決戦 ゴジラの息子」(1967)より © TOHO CO., LTD.

5



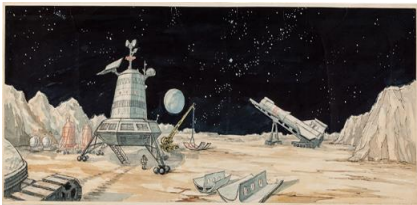
ゴジラ対クモンガイイメージボード、「怪獣島の決戦 ゴジラの息子」(1967)より © TOHO CO., LTD.

6



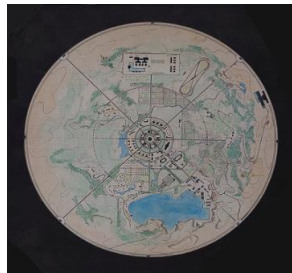
海岸のゴジライメージボード、「怪獣島の決戦 ゴジラの息子」(1967)より © TOHO CO., LTD.

7



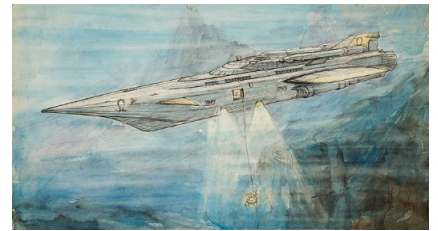
月面基地イメージボード、「怪獣総進撃」(1968)より © TOHO CO., LTD.

8



緯度0基地 設定俯瞰図、「緯度0大作戦」(1969)より © TOHO CO., LTD.

9



万能潜水艦アルファ号 デザイン画、「緯度0大作戦」(1969)より © TOHO CO., LTD.

10



ヘドラ デザイン画、「ゴジラ対ヘドラ」(1971)より © TOHO CO., LTD.

11



井上泰幸 アルファ企画にて、1994年 撮影：斎藤純二

【報道に関するお問い合わせ】
 「生誕100年 特撮美術監督 井上泰幸展」広報事務局（共同PR内）担当：三井
 E-mail : yasuyuki-inoue-pr@kyodo-pr.co.jp
 TEL : 03-6264-2382

【広報作品画像データ申請書】(2022/1/12版)

展覧会の広報を目的として本申請書にてご申請いただいた記事・番組に限り、本展の広報用画像の使用が可能です。本展の会期中であっても別の記事・番組への転用はできませんので、その際には改めてご申請をお願いいたします。ご使用可能期間は本展会期終了までとなります。また、掲載に際しては、下記注意事項をご確認いただくとともに、本展終了後、データは速やかに破棄・削除してください。必要事項をご記入の上、E-mailでお申し込みください。

＜画像使用全般に関する注意＞

- 展覧会名、会期、会場名などの開催概要のほか、作家名、作品名、公開年、所蔵元(寄託名含む)、撮影者クレジットを必ず掲載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。文字を重ねる、トリミングなど画像の加工・変更・部分での使用はできません。雑誌の表紙などへの使用をご希望の場合は広報事務局までお問い合わせください。
- 概要など確認のため、グラブリ・原稿の段階で広報事務局までお送りいただきますようお願いいたします。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録DVDを本展広報事務局へ1部ご送付願います。

希望	NO.	作品名・公開年	所蔵元	素材・技法	サイズ
	1	福岡・岩田屋周辺ミニチュアセットのメイキング写真、「空の大怪獣ラドン」(1956)より	© TOHO CO., LTD.	ご紹介いただきたい場合、別途ご連絡ください	
	2	福岡・岩田屋周辺ロケハンスケッチ、「空の大怪獣ラドン」(1956)より	© TOHO CO., LTD.		
	3	怪獣・建造物設定対比図、「モスラ対ゴジラ」(1964)より	© TOHO CO., LTD.		
	4	セット設計(部分)、「怪獣島の決戦 ゴジラの息子」(1967)より	© TOHO CO., LTD.		
	5	ゴジラ対クモンガ イメージボード、「怪獣島の決戦 ゴジラの息子」(1967)より	© TOHO CO., LTD.		
	6	海岸のゴジラ イメージボード、「怪獣島の決戦 ゴジラの息子」(1967)より	© TOHO CO., LTD.		
	7	月面基地 イメージボード、「怪獣総進撃」(1968)より	© TOHO CO., LTD.		
	8	緯度0基地 設定俯瞰図、「緯度0大作戦」(1969)より	© TOHO CO., LTD.		
	9	万能潜水艦アルファ号 デザイン画、「緯度0大作戦」(1969)より	© TOHO CO., LTD.		
	10	ヘドラ デザイン画、「ゴジラ対ヘドラ」(1971)より	© TOHO CO., LTD.		
	11	井上泰幸 アルファ企画にて、1994年 撮影:斎藤純二			

ご住所	〒				
社名/媒体名	社名		媒体名		
ご所属/ご担当者名	ご所属		ご担当者名		
TEL/FAX	TEL		FAX		
E-mail					
掲載号/ 発売予定日	月号(月 日号) / 月		日発売予定 (発行部数 部)		<input type="checkbox"/> WEBへの転載あり
チケット プレゼント	<input type="checkbox"/> 希望する ※数量に関しては別途ご相談となります。 応募、当選者選定、発送は貴社でお願いできればと思います。編集部で対応できない場合は広報事務局までお問い合わせください。				
チケット 送付先	※上記ご住所と異なる場合は記載をお願いします。				